

福岡市教育委員会主催 学生サポーター活動報告会

12月15日(水)

学生サポーター制度とは、福岡市教育委員会と大学(短大を含む)が協定を結び、学生が空き時間等を利用して、福岡市内の小学校などで様々な学習サポートを行なうものです。本学は平成21年11月に協定を結び、今年度も多くの学生が小学校などで活躍しています。平成22年12月15日、今年度取り組んできた内容を、食物栄養学科2年生の森義明君とこども学科2年生の田添穂波さんが福岡教育センターで活動内容を報告しました。



学生サポーター制度
平成22年度後期対象校

大池小学校
筑紫丘小学校
玉川小学校
東若久小学校
塩原小学校
三宅小学校

森 義明(食物栄養学科 2年)

学生サポーター制度を通して、学校給食の状況を学ぶことができ、また食育の視点で子ども達に望ましい栄養指導をすることができました。主な活動内容としては、授業での先生の補助、休み時間での子ども達とのふれ合い、教材作成補助などです。家庭科クラブの活動にも参加させてもらいみんなでクレープ作りに挑戦しました。その中で子ども達からの質問に答えたり、アドバイスすることで、現場でのスキルアップにつながりました。

子ども達に笑顔で「森先生」と呼ばれたときには感激しました。

田添 穂波(こども学科 2年)

少しでも教職の現場に触れ、講義では体験できない実際の子ども達とのコミュニケーションを図ることで自己成長に繋がると思い、この活動に参加しました。

小学校を訪問した際には、音訓カルタを一人ひとりに作成してもらい、音読み訓読みの違いや文章の指導、絵の指導をすることができました。こどもと目線を合わせて初めて信頼関係を築けることに気づいたり、こどもの成長を促す褒め方を学ぶことができ、とても有意義な活動になりました。

